



国立台湾師範大学  
月例報告書 (12月)

# 珍珠茶房

台湾スタイル抹茶カフェ

## はじめに

学期が無事に終了し、半年間の留学をしていた子達ともお別れとなってしまいました。一緒に過ごした時間は決して長くはありませんでしたが、授業や日常などの何気ない時間を通してたくさんの思い出を作ることができました。お別れは寂しいですが、またどこかで会えたら嬉しいなと思います。



## 期末試験

今月は学期の締めくくりということもあり、期末試験が行われました。私が履修していた授業は、総合華語、English pronunciation、Borders, Power, and Culture in Taiwan の3つで、それぞれ期末試験がありました。それぞれ振り返っていききたいと思います。

### 総合華語

期末試験の問題形式は中間の時とほぼ同じで、語彙や文法、長文が中心のテストでした。個人的に、文法問題が苦手な印象があったので文法中心に勉強をしました。テスト形式が中間と同じようだったこともあり比較的解きやすい印象でした。

### English pronunciation

まず、テスト形式はプリントに書いてある単語や文章を読むという端的なテストではありませんでしたが、個人的に発音が苦手ということもあり、難しかったです。授業でも苦戦していたRとLの発音が特に苦手で意識してテストに臨みました。

### Borders, Power, and Culture in Taiwan

この授業では事前に出された問題を授業内でレポート形式で答えるものでした。問題や内容は個人的に難しかったのですが、面白い内容だったのはよかったです。

## 友達

今月は運良く、ネイティブの子とたくさん遊ぶことができました。彼らは現地の美味しいお店をよく知っていて、そのおかげで本当に色々なお店に連れて行ってもらいました。自分では見つけられなかったと思うお店も多くて、毎回新しい発見がありました。美味しいものをたくさん食べられて、すごく楽しい時間でした。

## 一学期を振り返って

まずは学期が無事終わってホッとしています。日本と少し環境が違う中、適応できるか不安でしたが、周りの人のおかげで楽しく過ごせたなと思います。また授業や台湾人との会話を通して、台湾のナショナリティを体系的に学ぶことができたなと思います。今学期は、特に語彙力の向上を意識して学習に取り組みましたが、授業を通して振り返ると、個々の語彙について正しい使い方が十分に身につけていない場合が多く、文法的に誤った使い方をするところがありました。そのため、語彙を知っているだけでなく、正しく使える段階まで理解を深める必要があると強く感じました。次の学期では、新しい語彙を覚える際に意味だけでなく文法的な用法や実際の文脈の中での使われ方まで意識して、より正確な表現ができるように努めていきたいと考えています。そういった点に関して、語学学校の先生は逐一間違った表現を訂正してくれたのすごくありがたかったです。



## 宜蘭旅行

台北の少し東南にある宜蘭に行きました。  
台北とは違って海や山に囲まれた景色が印象的で  
雰囲気も全然違うなあと感じました。  
同じ台湾内でも場所によって雰囲気が一気に変わるの  
はまた、新しい発見ができ、楽しいです。  
今回は行きませんでした。宜蘭は温泉が有名らしいので  
機会があれば温泉に浸かりたいですね。



## 韓国旅行

学期が終わって韓国旅行に行きました。  
韓国ドラマを見るのが好きなので、ドラマと同じような  
雰囲気があるような気がしました。しかし、台湾は日本  
と比べて暖かいのですが、韓国は少なくとも浜松より  
寒かったのになかなかきついなと思いました。  
それでも韓国料理は美味しすぎました。